

各種証明書入手方法について

2022年4月より、卒業生のサービス向上を目的に、「証明書オンライン申請サービス」を導入いたしました。これにより申請の簡略化を行い、24時間申し込み可能となりました。
※郵送での申請や代金支払いは受付ができませんので、ご注意ください。

オンライン申請検索はこちら

神奈川工科大学 卒業生の皆様

検索



証明書の種類によっては、発送まで1週間以上要するものもございます。
証明書を申請される皆様は、あらかじめご理解・ご了承の上、十分余裕をもって申請くださいますようお願い申し上げます。
大学教務課 証明書係

静岡・東海地区支部会懇親会



静岡・東海地区支部会が開催されました。
会場：静岡 オークラクトシティホテル浜松
日時：2023年7月8日(土) 17:00



名誉教授記 授与式を挙行



永年に亘り本学の教育・研究の分野において、多大な貢献をされた下記の方々に名誉教授の称号が授与されました。

名誉教授記 授与者

高橋 正雄 名誉教授(元基礎・教養教育センター 教授)
三井 和博 名誉教授(元基礎・教養教育センター 教授)
森 勇輔 名誉教授(元創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科 教授)
上平 員丈 名誉教授(元情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 教授)
故 武尾 英哉 名誉教授(元工学部 電気電子情報工学科 教授)

2023 秋号
Vol.36

IKUTOKUGAKUEN
News Letter 2023

幾徳学園同窓会会報

<http://www.kait-ext.com/kaitweb/>

■ 2023年10月1日発行 ■ 発行人／中山 裕之 ■ 発行／幾徳学園同窓会

○住所変更及び問い合わせは下記へご連絡下さい。〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
幾徳学園同窓会事務局(学生課内) gakusei@kait.jp TEL.046-241-9394 FAX.046-242-3529

幾徳学園同窓会 会長

中山 裕之

Message

会長ごあいさつ

幾徳学園同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルス感染の5類への移行により、大学では前期授業から全面的に対面実施となり、無事に前期を終了し本来の学園の姿に戻ることができたものと思います。施設面では、すでに着工しているKAIT TOWN、新実験実習棟の建設が来年度の竣工に向けて進められております。また、時代の変化に対応するため、学部学科の再編が来年度4月に予定されております。このような学園の変化に合わせ同窓会の活動もその動きを支援する形で対応させていただきます。

今回の会報では、学園創立60周年ということで、学内で学生指導に当たられているOBの先生方にお集まりいただき、これまでの経緯や現状などについて座談会形式でお話いただきましたのでその内容を掲載しております。学園や学生の状況について皆様のご理解を深めていただく一助としていただければ幸いです。

幾徳祭・ホームカミングデーにつきまして、今年は4年ぶりに開催が予定されたこと

から同窓会の総会も皆様にお集まりいただき開催する予定で準備を進めております。コロナ禍を乗り越え、次に向かう新たな出発点として皆様と今後の同窓会活動について協議できることを楽しみにしております。会員の皆様には是非学園にお越しいただき総会へご参加いただきますとともに、変化するキャンパス、学生の活動を見学していただきたいと思っております(別掲の開催案内を参照ください)。

支部会、地区別懇親会につきましては、すでに静岡・東海支部会は多くの方のご参加をいただき無事終了いたしました。今後、福岡、京都、仙台の各懇親会をホームページに掲載の通り予定しておりますが、まだ、新型コロナウイルスの感染が終息したわけではありませんので、感染状況に留意しながら準備を進めております。こちらにもぜひ多くの皆様にご参加いただけますようお願いしております。

会員の皆様には引き続き感染予防にご留意いただき益々ご活躍されます事を理事一同、心より祈念しております。

※同窓会総会開催のお知らせ

学園創立60周年記念の特別企画として
学内OB座談会を開催しました。

Contents

会長ごあいさつ	01
ホームカミングデーについて 第50回通常総会開催について 学園創立60周年記念特別企画 OB座談会	02~06
60周年トピックス	07
Information	08
各種証明書入手方法について 静岡・東海地区支部会懇親会 名誉教授記 授与式を挙行	

ホームカミングデーについて

幾徳祭に合わせて、11月4日(土曜日)に大学主催によりホームカミングデーを開催予定です。当日は、大学及び同窓会からの記念品のご用意もあります。

受付：K3号館2階 第一食堂 11:00~15:00

※詳しい内容につきましては、状況により変更が生じる場合もありますので、大学のHP等でご確認をお願いいたします。 幾徳祭は、11月4日、5日開催します。

第50回通常総会開催について

- | | |
|---------|--|
| 1. 開催日時 | 令和5年11月4日(土) 13:00~ |
| 2. 開催場所 | 神奈川工科大学 K3号館2階 第一食堂 |
| 3. 総会次第 | (1) 開会の辞
(2) 会長挨拶
(3) 議長選出(会則第15条2項)
(4) 議 事
第1号議案 令和4年度活動報告並びに決算(案)承認の件
第2号議案 令和5年度活動計画(案)及び予算(案)承認の件
(5) その他
(6) 閉会の辞 |



幾徳学園同窓会
学園創立60周年記念特別企画

O B 座 談 会

入学理由は様々でも楽しんだ学園生活

中山(以下敬称略): お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。同窓会長を務めている中山です。私は高専10期で、4年に幾徳工業大学が発足し、大学で卒業しました。

これまで広報誌は学外でご活躍のOBを中心にご紹介しております。今回、学園創立60周年を記念し、学内OBの皆さんの状況をお伝えしようと、学園で学生の指導にあたられているOBの方々の座談会を企画しました。

まず、**当高専、当大学を選んだ理由と、入学してからの感想**を聞かせください。

齋藤: 子どもの頃からモノづくりが好きで、幾徳工業高専と進学校付属の2校を受験。結果が先の高専に進学しました。高専9期生で1975年に大学に移り、後輩と一緒にの学年でした。大学1期生で自由に、色々させていただき

楽しかったです。

今井: 幾徳工業大学へ入学し、2年目の1988年に神奈川工科大学になりました。私の出身は名古屋、2年浪人中で3月に入試ができる大学を探しました。行くところがなかったのて来しました(笑)。入学後のフレッシュヤーズキャンプは、機械、電気、化学の3学科全員で箱根に行きました。

佐藤: ここは家から一番近かった大学で、漠然と理系で機械だろうと。入学後も「違う大学に行きたかった。半年でやめよう」という感じ。4年で研究に取り組んでから、研究にはまりました。卒業後は神奈川工大で技術職員に就きました。卒業当初は、小学校の教員になろうと思っていたので、本学で研究の補佐をしながら他大学の文学部教育学系の夜間課程に社会人学生として入学して教育学を学びました。昼間は本学で研究の補佐と学生への指導、夜は教育学の勉強をしました。そのうちに、工学

と教育学の両分野にまたがる研究者になれるのではないかと思います。そのまま他大学の教育学系の大学院で学び博士の学位を取りました。萩野: 英語が苦手だったこと、物理力、自動車関係を学びたかったのですが、エンジンと車体の研究室があったので決めました。私が入学したのは機械システム工学科で、フレッシュヤーズキャンプは機械システム工学科のみで行きました。バイクなどを乗り回していた同級生もいて、入学後は楽しかったです。

和田: 私は鹿児島県出身、親から「大学に行くなら神奈川にいる姉と一緒に」と。推薦入試を受けたら大勢の人が来ていてビックリ。大学は田舎で、またビックリ。入学後は友達とドライブに行ったり、遊んでばかりでした。フレッシュヤーズキャンプで、現地の部屋は機械システムと工業化学の学生が一緒でした。私は友達づくりが上手で大学生生活は楽しかったです。近隣に観光地があり、免許を取ると行動範囲が



齋藤 貴さん

SAITO Takashi

68歳 副学長、工学部応用化学科 教授 神奈川小田原市出身
幾徳工業高等専門学校 工業化学科9期
幾徳工業大学 工学部工業化学工学科1期 卒業
慶應義塾大学大学院 工学研究科 応用化学専攻 博士後期課程修了 博士(工学)



今井 健一郎さん

IMAI Kenichiro

56歳 工学部機械工学科 精密加工研究室 准教授 愛知県名古屋出身
神奈川工科大学 工学部機械工学科 卒業
神奈川工科大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 博士後期課程修了 博士(工学)
神奈川工科大学 工学部機械工学科 助手、実験講師、講師

広がりました。

三栖: 大学から実家まで徒歩10分程。私はUFOが大好きで子どもの頃、大槻教授からプラズマの話聞き興味をもち、荒井先生がプラズマの研究をしていたので受験。私はフレッシュヤーズキャンプではなく、焼肉・バーベキューでした。仲間にオートバイ好きや車好き、マニアックなキャンパー等、かなりマニアックな人が多く、たくさんの刺激を受けました。

杉村: 私はゲームが好きで、小学生から独学でプログラムを作っていました。高校は進学校で大学進学は「ゲームを作りたい」と情報が学べる大学を探しました。神奈川工科大学に名前が変わり偏差値が高くなり、情報は55程度でした。私の時代のフレッシュヤーズキャンプは河口湖で行いました。これまで進学校で、趣味のプログラミングは浮いていましたが、入学後、仲間が増えて楽しかったです。

中山: 思いが通じた進学でした。端山先生お願いします。

端山: 子ども時代からモノを分解してばかり。好きな電気系に進もうと、高校の先生の勧めで本学を選択。私の頃、フレッシュヤーズキャンプはなく、学内でシミュレーションを行う行事でした。3年次に入った研究室がクリーンルームを使用していて衝撃的でした。大学へは車通学だったので、平塚等へ行ったり、遊び回っていました。

長: 私は工業高校出身。高3年生の時に、レゴのロボットコンテストが本学で初めて開催され、参加して優勝。縁を感じ挑戦しました。フレッシュヤーズキャンプは八ヶ岳に1泊。情報工学科は人数が多く、何台かのバスで行きました。正門から見るとあまり景色は変わっていません

が、図書館の方に近代的な建物があり「カッコいい」と。当時は就職氷河期終盤、周りは資格取得に力を入れ、私も資格を多く取りました。

中山: ありがとうございます。今はオリエンテーションだけで、密接な関わりがまだ難しいですね。体育館脇にバーベキューコーナーがありますが、まだ使われていないですか。同窓会からオーニング(雨よけ)を寄付しました。同窓会主催でBBQ大会をやりたいです。次、**学生時代にしていた活動とどのような学生だったか**、エピソードを伺わせてください。

佐藤: しばらく「心ここにあらず」の状態でした。4年次の卒業研究を機に変わりました。データを24時間取り続ける作業をしました。今のように自動制御ではなく、パソコンも98型。温度を低温状態で安定させながらデータを取り続け、13日間研究室に泊まりこんだこともあり、研究にのめり込んだ時期でした。

萩野: 4年次に軍隊のような猛烈な先生の研究室で、ディーゼルエンジンを研究。その頃、7リッターの大きいのを使って夜中じゅうエンジンを回し、小型エンジンのクランクシャフトを7本程折りました。エンジンを冷やすため冷却水を流し続け、C5号館のトイレの水が全部止まりエラク怒られました。卒業しメーカーに入社後、また大学に戻りました。戻ってからはガスタービンの研究を行っていました。

三栖: 僕は、プラズマをあまり勉強せずに麻雀、プラモデル等、遊びほうけていました。思いついたのは荒井研究室に入ってから。クリーンルームに宝川先生や、井川先生等、すごい先生がおられました。研究グループに参加させていただき、議論をしているとモノが飛んできたり、かなり怒られたり。当時、SEM(走

査電子顕微鏡)の電子顕微鏡で、ピントを合わせるのがかなり大変で、研究は厳しいと痛感しました。

端山: 私は、同じ高校から入学した学生が30人以上いて、高校の延長気分でした。授業中にモノが飛び交う強烈な先生がいて「大学だ!」と実感。3年次から中津原研究室でした。研究中に紫外線に当たらないよう、蛍光灯がイエローの部屋に一日中入り、外に出ると景色が赤く見えるほど。実験は夜中までであり、なぜか「夜中にやるとうまくいく」と言われ、0時を過ぎたらクリーンルームに入り、朝までやっていました。

教員になったきっかけも千差万別

中山: 今はスマートな研究室で、時代の流れもありますが、物足りなくも感じます。ありがとうございます。次は**母校の教員になろうとしたきっかけ**をお願いします。

齋藤: 父は中学校の教員、母はピアノの講師の家庭で育ち、将来は教員になりたいと教職課程を取り、教育実習に行ったが、高校から大学の教員志望に変更。高校で受けた付属大学の大学院を受験し直し、そちらへ進みました。私は分析、機器分析が好きで、何の知識もなく分析の教授を選んだところ、柳沢三郎先生という素素酸化物の計測のJIS基準を作った有名な方。「すごい所へ入った」と思いながら環境分析の研究で5年過ごしました。研究室の先生は、大学の初代学長と親族関係にあり、大学院に残るか、神奈川工科大学に戻るかの2択。何かの縁かと、形だけの面接を受け、4月から助手で就職しました。



佐藤 智明 さん

SATO Tomoaki

58歳 工学部 機械工学科 教育機械工学研究室 教授 神奈川県出身
神奈川工科大学 工学部機械工学科11期 卒業
早稲田大学大学院 人間科学科研究科 博士後期課程 修了 博士(人間科学)
筑波大学大学院 システム情報工学研究科 博士後期課程 修了 博士(工学)



萩野 直人 さん

HAGINO Naoto

53歳 工学部 機械工学科 熱流体工学研究室 准教授 東京都出身
神奈川工科大学 工学部機械システム工学科 卒業
神奈川工科大学大学院 工学研究科 機械システム工学専攻 博士後期課程修了 博士(工学)
リョービ株式会社、近畿大学工業高等専門学校

今井：教員は考えていませんでした。修士2年で、うちの大学は博士後期課程がなく、他大学の後期課程を受験し合格。ボスから「うちの大学、来年、後期課程ができるかも」と言われ、残ってもいいかと。埼玉大学に返事をしなければならぬ3月にやっと許可が下り、うちの研究室で研究を継続。3年間で取れず、5年かかりました。学費が続かず研究生として残り、「来期助手の枠が空く」と聞き、助手をしながら博士号を取得。助手時代に実験を任せられ、学生に教え「自分に向いている」と感じ、今に繋がっています。

和田：私も教員になろうと思わず、4年次に就職活動をしたが、就職先がなく大学院に進学。4年次から変えられた研究テーマが面白く、研究にのめり込み、博士後期課程まで行きました。先生は何も教えてくれず「間違っていたら指摘するから、好きなことをやれ」と。3年次に「これをやれ」と言われ、データをまとめ論文を見せ、10回ほどダメ出し。第1章が完成後は「あとは好きにやればいい」と言われました。研究職は嫌でしたが、研究をしながらのTAには、面白味も感じました。他大学や、うちの非常勤を行い、縁があり今に至っています。

杉村：きっかけの先生が2人います。1人は物理の先生。最初の授業で「俺の授業はエンターテインメントだから、飲み食いしながら受けていい。授業態度はどうでもいいが、周りに迷惑をかけるな」。これ聞き「なんて自由なんだ」と、「学校」に対する意識が変わりました。卒業後、情報系のプログラミング企業に就職。大学院に進んだ友人を訪れ、ある時、1科の日立出身の野木先生の研究室を訪れました。先生にプログラムの質問をしたところ、

「杉村君、それはね〜」とよどみなく説明され、まだ勉強が必要だと感じ、社会人2年で会社を辞め、野木研究室へ。当時、大学院生が6人程いて、月1で飲み会。「今日、飲み会をします」と先生の所に行く、財布ではなくズボンのポケットから2万円ぐらい出してくれます。「いい先生だ、僕もこうなりたい」と思いました。

中山：目指したい先生がおられたのですね。杉村先生は、ポケットから出すのですか。

杉村：僕はさすがに財布を持てます(笑)。僕はお金を出すだけでなく参加したいですね

長：入学は情報工学科で、先生がメディア科の佐藤先生でした。修士と博士で面倒をみていただき、博士3年で学位が取れずドロップアウト。フリーランスで、コンテンツを作る仕事をしていました。非常勤もやっていました。教員になる前年、紹介先のIT企業の新人研修を担当し、教える楽しさを知りました。5年ぐらい前「本学に専門教育講師の枠ができるから社会人経験者枠で応募したらどうか」と言われ、今に至っています。

中山：私も非常勤講師を経験し「面白い」と気づきました。次に、担当の授業で心がけていることやどのような工夫をされているかをお教えてください。佐藤先生、お願いします。

佐藤：2つ専門があり、今まで小口研でやっていた熱工学と、もう一つは教育工学です。機械工学では、抽象的な面がうちの学生は苦手です。具体的に教えるため、コンピュータグラフィックスで見せると分かりやすいようです。見えないと分からないので、それをCGでアニメーション化し、置き換えて具現化。教育工学では盛んにCGを使っています。工学と抽象的なものを具体的に表現して教える際はアニメー

ションを使い、メディア科のように教えています。

中山：現在IT化が進み、目に見えるもののアウトプットだけで、裏側にある原理を見ずに先に行ってしまう。そこをきちんと押さえる授業は貴重です。ありがとうございます。

萩野：博士課程後は長い期間、非常勤の研究員でした。金属加工、自動車のエンジン、さまざまなことをやっていると、意外と共通点が多いです。材料力学、流体力学など四力学の知識が必要で機械は幅が広いです。トライアンドエラーで、私は学生が失敗しても怒りませんが、やらないと怒ります(笑)。また、あらゆる技術や知識は失敗から成り立つので「失敗は消さないで残す」、間違っても消しゴムで消すのはNG。様々なことに挑戦し、うまくいく場合も多く、失敗から伸ばすことも大事だと思っています。

三栖：応用の授業は、身近なところから体験的に学ばせるよう心がけています。電気回路等の授業では、毎年やり方を変えています。最近、集団で分かっている学生と、分からない学生がおり、分らせる方法を模索中です。クラス分けをし、理解度等を統一しますが難しい。ノートを書かせ、最後に提出させ、学生の考え方をわかるように努め、知った上でアドバイス、基本に立ち返っている感じです。以前との違いは、レベル差を把握し、学生に沿った教え方をするようになりました。KAIT未来塾という小学生向けの授業は、つまらないと騒ぎ出します。子たちの注意を引き、こちらの話を聞かせ、内容を理解させるのは大変です。

中山：ご苦勞なさっているのがわかります。端山先生いかがですか。

端山：私は基礎科目の担当で、学年は1・2年

生向け。大学に入って間もない学生は、普通科高校出身も、工業高校出身もいるので、レベルの差が大きく難しいです。基礎科目の授業の話と計算で、面白く教えていくのも大変です。「この技術はここに繋がっている」と結び付けながら進め、日々、面白いネタ探しをしています(笑)。

OBだからこそ熱い本学への思い

中山：ありがとうございます。次は、**神奈川工科大学のPR**をお願いします。

齋藤：ここにおられる先生方は、手厚い指導をされていると思います。学生指導が、クラス担任や、卒研の指導等で他大学より手厚いです。日経新聞の6月に出た記事を紹介しします。上場会社5000社に「力を持っているのはどういう大学か」とアンケートで聞いています。企業が採用を増やしたい大学では、本学は8位に入り、私立系大学は2校だけ。就職活動に手厚く熱心に取り組む大学は、うちは5位、確実に認められています。独創性は、うちは関東甲信越で7位、驚きです。卒研で手厚く指導しているの、見えないところで育ち、成果が出ているようです。うちが強いのは、人とうまく付き合える「対人力」、これも7位。結果があるので、これらは自慢できるし、学生にも知らせたいです。我々の指導が形として現れたようで嬉しいですね。

今井：子供が3人おり、2人が大規模大学に進学しています。話を聞くと、うちの大学は小さすぎず程よい大きさだと痛感。学生との距離が近いのもそうです。教職員が学生を手助けできる距離、学生教員で食事ができる規模の大学ですね。機械工学科だから、KAIT工



2023年8月2日 先進研1Fロビーにて開催

房の建設前に卒業したOBから「使わせてほしい」とよく言われます。施設を作るのはユニークさもあり良いと思います。

和田：教員と学生の距離が近いと、学生側からも思っていて、齋藤先生はクラス担任で、担任と飲みに行くこともあり、私の記憶にないですが、齋藤先生から「俺の肩を組んだぞ」と。笑いながらネタにしてくれて嬉しいです。私も、学生との距離を近く保ち、相談を受けたらすぐに応じられるよう環境を整えています。

杉村：教員指導と施設の良さ以外に、学生の良さもあります。うちの学生は根が真面目で、根性があり、やれと言ったらやる。バカ真面目に近いところもありますが、それらも含めて、根っこがいい学生が集まっている。それが皆さんの教育の成果でもあるし、安心して勉強に向かえる体制が整っています。真つすぐ育てられる大学です。

長：環境面では自然が多く、暗すぎる田舎でもない、というのもポイント。この辺は大学が少なく、変な勧誘もない。宗教やマルチ等、大学生だと不安になるものが少ないのがいいです。オープンキャンパスで、女子の志望者の親御さんが「大学の敷地内に寮があるので安心した」と。そういう点も自慢できると思います。

中山：ありがとうございます。最後に皆さんにお伺いします。**後輩たちへ期待することや、目指してもらいたいことをお聞かせください。**

齋藤：学生たちは苦学意識があるので、私は「話す力をつけなさい、プレゼン力をつけなさい」と言っています。もう一つ「グループワークでリーダーを取るようにしなさい」。そうすると、有名大学出身の新入社員にも勝てます。勉強ではたとえ不足していたとしても、力の入れ所を分けてあげ、勝てる力を伸ばす。そこで学生に自信を持たせたいです。



和田 理征 さん

WADA Risei

50歳 応用バイオ科学部応用バイオ科学科 環境高分子化学研究室 准教授 鹿児島県出身
神奈川工科大学 工学部工業化学工学科 卒業
神奈川工科大学大学院 工学研究科 工業化学専攻 博士後期課程修了 博士(工学)
神奈川工科大学、法政大学、横浜国立大学非常勤講師
神奈川工科大学技術支援室を経て現職



三栖 貴行 さん

MISU Takayuki

46歳 創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科 照明工学研究室 教授 神奈川県出身
神奈川工科大学 工学部電気電子工学科 卒業
神奈川工科大学大学院 工学研究科 電気電子工学専攻 修了 博士(工学)
市光工業株式会社



杉村 博さん
SUGIMURA Hiroshi

42歳 創造工学部ホームエレクトロニクス開発学科 IoT プログラミング研究室 准教授 静岡県出身
神奈川工科大学 工学部情報工学科 卒業
神奈川工科大学大学院 工学研究科 情報工学科専攻 修了 博士(工学)
サイバーコム株式会社



長 聖さん
CHO Satoshi

研究開発センター(情報メディア学科) 専門教育講師 神奈川県出身
神奈川工科大学 情報学部情報工学科 卒業
神奈川工科大学大学院 工学研究科 情報工学専攻 修了 修士(工学)

今井:毎年卒研生に2つ言っています。1つは、試験で他大学の学生に勝とうと思わず、試験以外で何か1つ勝負できることを考えなさい。それを作れば自信になると伝えます。もう1つ、きちんと遊ぶ。実際に遊んだことは自分の言葉で話せるから相手に伝わります。遊んでいないと面白い話ができない。趣味でもゲームでも何でもいい。自分が本当に楽しんでいる遊びをきちんとしてほしい。それができたら卒研はすぐにできます、と言って卒研をスタートしています。

佐藤:今日分かったのは、うちの大学に来る学生は大きく分けて2つ。1つは他大学が受からず不本意ながら入学した。あるいは工業高校から近い分野をよく見て入っている。不本意だった場合、1、2年次は何となく過ごす。そこで気がつくとも20歳過ぎて遅くもない。自分を振り返っても24、5歳から勉強しました。第一希望でなくてもこういう先輩もいるし、途中から切り替われば間に合うと伝えたいです。

萩野:「とにかくやってみよう」と言いたい。何でもいから誰にも負けないものを1つ作ろう、それを伸ばそう。遊びや趣味、そこから学問も人との付き合いも生まれます。私は以前高専の教員をやっていた気がしました。大学はどちらかというと理論が、高専は実務に強い。実社会では両方できる人が求められます。両方できるのはすき間で、私は、学生に「ここをねええ」と言っています。

和田:大きく学ぶためには多く失敗しなさい。失敗は人生の糧です。私は失敗ではなく「データの1つ」と言っています。必ずデータを残すように伝えて、卒研指導もしています。色々な文献を読んで、頭でっかちな学生が多いので「考

える前に行動しよう」と。物事は動かないと進まないの、思ったことを大胆にやりなさいと伝えています。

三瀬:私は科学イベント等で家電の分解ショーの際、子供たちに「モノづくりは思いやりのかたまり」「売れるモノづくりは思いやりのかたまり」と言っています。「誰かが何かを使う時に起きることを想像し、気持ちよくできるかを考えられる人になってほしい」と続けます。思いやりは、売れるモノづくりにつながり、将来、役に立つと話しています。

杉村:自分で責任をもって決定できる人になってほしい。そもそも人生の成功って何でしょう?お金をいっぱい稼いぐことなのか、有名になることなのか。人生の成功は自分で決めること。失敗したら失敗と決めるのは自分、でも失敗がいつか活きて成功するかもしれない。自分の決断で、自分の人生を歩むのが重要で、自分の人生を責任をもって決断できる人間を

端山 喜紀さん

HAYAMA Yoshiki



33歳 神奈川工科大学 情報学部情報工学科 講師(教育開発センター専門教育講師) 神奈川県出身
神奈川工科大学 工学部 電気電子情報工学科 卒業
神奈川工科大学大学院 工学研究科 電気電子情報工学科 卒業
神奈川工科大学大学院 工学研究科 電気電子工学専攻 修了 博士(工学)
株式会社寺田電機製作所

目指してほしいです。

端山:私は、年齢が学生に近く友達感覚で接しています。うちの学生はいいところをもっていますが、真面目で控えめ、積極的にアピールしない。就活の自己分析で悩んでいるので、早目に自分のいい面を知り、伸ばす努力をしてほしいです。

長:身体ではなく、心の健康を壊す人がいます。心の健康を維持できるようにしてほしい。心の健康は大切です。学生と触れ合うと、本人が趣味と言っても、周りに合わせて情報を仕入れている学生が多く、心の底から楽しんでいるように見えません。楽しめる趣味を見つけ、学生生活を過ごしてもらいたいです。

中山:学生が自立して行動できるよう指導する必要性を私も感じます。学園は60周年の節目ですが、これからも継続しますので、皆様のお力をお借りし、同窓会も微力ながら協力させていただきます。長時間にわたりありがとうございました。

60周年トピックス

創立60周年ロゴマーク



創立60周年を機に策定した記念ロゴマークには「大学をとりまく地域社会や地球環境とともに進化・成長する」という、「未来」に向けた神奈川工科大学の想いと決意が込められています。

また、大学の設立者である中部謙吉とゆかりのある大洋漁業(現マルハニチロ)株式会社、大洋ホエールズ(横浜DeNAベイスターズ)からクジラを「はじまり」のモチーフとして取り入れました。

KAIT Vision60を策定

創立60周年を迎えるにあたり、変わりゆく社会動向を踏まえた上で、およそ20年後の大学の姿を描く長期ビジョン「KAIT Vision60」を策定しました。

今後も課題を発見し柔軟な発想で解決でき、技術によって新たな価値創造を生み出せる「人」を育て、身近な課題から地球規模の課題まで「知」をもって取り組み、個人の個性と能力を十分に発揮できるコミュニティの「絆」を地域社会とともに形成しながら、本学の多様な「力」を結集して、豊かで持続可能な未来へ貢献します。そして、伝統を礎にしながら未来社会を支える新たな技術と人材を生み出し続け、「社会・地域の発展と自然環境との共生、本学に関わるすべての人々との絆」を次の世代に継承するべく、さらなる発展を遂げることを目指します。



詳細ページへ

長期目標: 伝統を礎に未来をつくる大学へ



新たな施設がキャンパスに加わります

KAIT TOWN

竣工予定2024年3月



鉄筋コンクリート造、地上2階、延床面積 1,225 m²
地域連携・貢献センター、eスポーツセンター、eスポーツ・市民ホール、市民・学生コミュニティ室、コレクション展示室 他

地域連携の強化を目的とした「KAIT TOWN」、機械工学の実践力充実のため「新実験実習棟」(仮称)の建設を行っています。「KAIT TOWN」では学生主体のeスポーツの活動拠点となるほか、広く地域の方々との連携活動の場となる予定です。

新実験実習棟 (仮称)

竣工予定2024年1月



鉄筋コンクリート造、地上2階、延床面積 750 m²
環境・エネルギー工学実験研究室、流体実験研究室、風洞実験研究室、熱実験室、溶接実習室

2024年4月 工学部と情報学部を改組・改編します

時代の変化に柔軟に対応するため、2024年4月、神奈川工科大学は3学部体制でスタートします。すべての学生が成長できる学習スタイルを構築し、モチベーション教育、教育のデジタル化、グローバル教育、産学連携教育など、教育内容の充実を目指します。

現在の学部・学科・コース		
学部	学科	コース名
工学部	機械工学科	機械工学コース
		航空宇宙学コース
	電気電子情報工学科	
情報学部	情報工学科	
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	
	情報メディア学科	
創造工学部	自動車システム開発工学科	
	ロボット・メカトロニクス学科	
	ホームエレクトロニクス開発学科	
応用バイオ科学部	応用バイオ科学科	応用バイオコース
		生命科学コース
健康医療科学部	看護学科	
	管理栄養学科	
	臨床工学科	

2024年度入学生の学部・学科・コース		
学部	学科	コース名
工学部	機械工学科	機械工学コース
		自動車システム工学コース
		環境・エネルギー工学コース
	電気電子情報工学科	電気電子情報工学科
情報学部	情報工学科	情報工学科
	情報ネットワーク・コミュニケーション学科	情報ネットワーク・コミュニケーション学科
	情報メディア学科	情報メディア学科
	情報システム学科	情報システム学科
健康医療科学部	看護学科	看護学科
	管理栄養学科	管理栄養学科
	臨床工学科	臨床工学科

■2024年度以降変更になる学部・学科・コース(新設学科に移行する学科以外)

工学部 機械工学科 航空宇宙学コース → 工学部 機械工学科 機械工学コース
創造工学部 自動車システム開発工学科 → 工学部 機械工学科 自動車システム工学コース
創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科 → 工学部 電気電子情報工学科 情報エレクトロニクスコース

新設学科 工学部 応用化学生物学科

応用化学コース、応用バイオコース、生命科学コースを設置。応用化学と生物(バイオ)の両方の基礎を理解し、食品や薬品などの製品開発につながる専門技術が学べる学科です。今までの「工学部 応用化学学科」と「応用バイオ科学部 応用バイオ科学科生命科学コース・応用バイオコース」の学びを、それぞれのコースが引き継ぎます。

新設学科 情報学部 情報システム学科

創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科の学びを引き継ぎ、医療福祉・生産現場・教育など多様なフィールドに広がる情報技術の「社会での活用方法」に注目して、人々の生活や働き方への応用を模索します。情報技術の基礎であるソフトウェアに加えて、ハードウェアも合わせて学び、プログラムでモノを動かすための知識を習得します。

※この記事は神奈川工科大学広報誌kait203号より引用させていただいております。